

人材育成・活用専門部会 活動報告

◎メンバー

部会長: 畑中重光(三重大大学) 幹事: 浅野 聡(三重大大学)

高木朗義・小山真紀・村岡治道(岐阜大学) 牛山素行(静岡大学)

倉田和己・阪本真由美(名古屋大学) 秀島栄三(名古屋工業大学)

松本幸大(豊橋技術科学大学)

◎部会開催

・第1回専門部会

日時: 1月16日

場所: 名古屋工業大学

内容: ①各大学の防災関連講義における他大学のコンソーシアムの教員による講義の実施状況について

②各大学の人材育成・活用の取り組み状況について

人材育成・活用専門部会 活動報告

◎活動目的

- ・コンソーシアム参加大学の人材育成・活用の取り組みや手法、課題について情報共有する
- ・参加大学が相互に連携して人材育成と活用をおこなう仕組みについて検討し、実践する

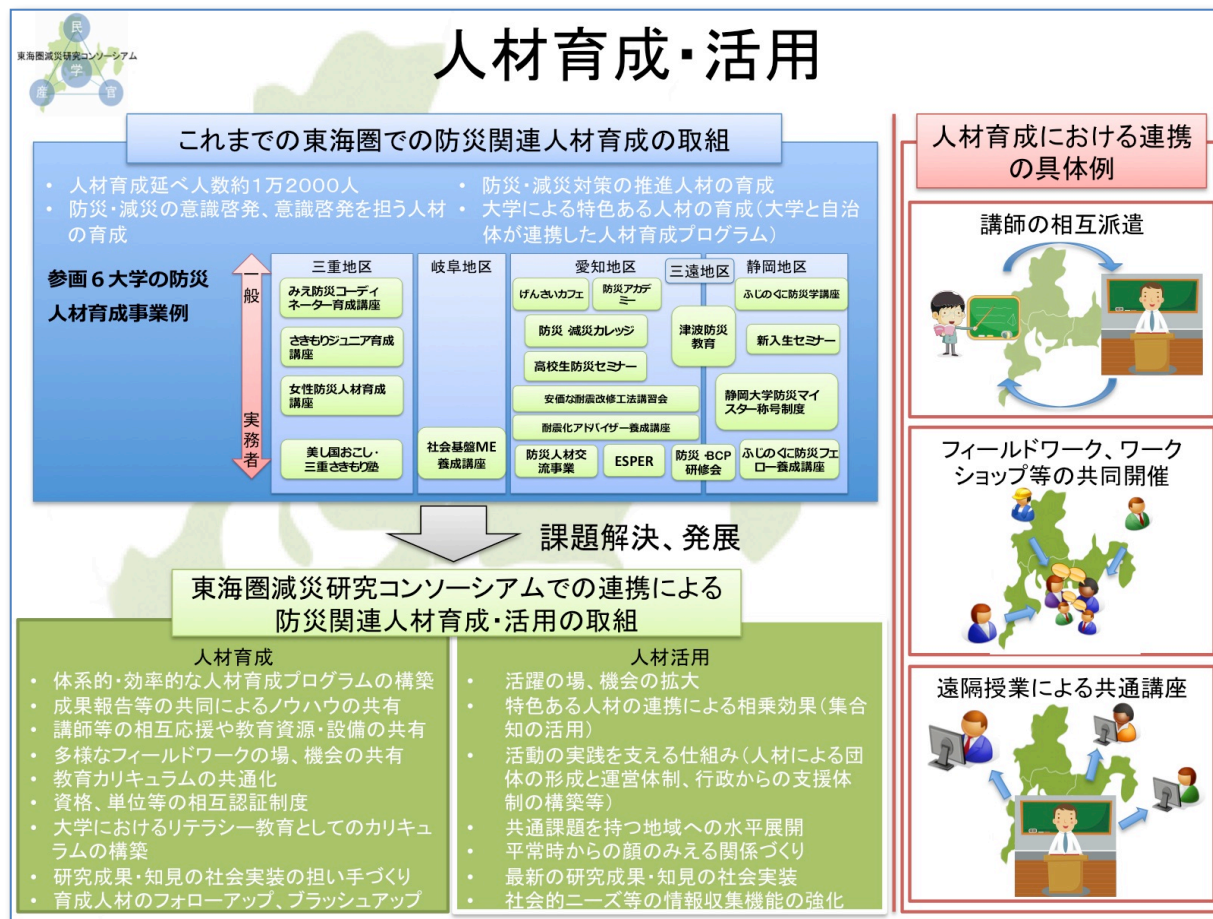


図 人材育成・活用部会の活動概要

人材育成・活用専門部会 活動報告

◎教員交流の実践

①静岡大学

- ・防災フェロー養成講座「治山砂防工学」 林 拙郎(三重大大学名誉教授)
- ・防災フェロー養成講座「都市防災概論」 廣井悠(名古屋大学)
- ・全学教育科目「地震防災」 武村雅之(名古屋大学)
- ・人文学部(夜間主)「地震防災」 武村雅之(名古屋大学)

②名古屋大学

- ・今年度は特になし

③名古屋工業大学

- ・今年度は特になし

④豊橋技術科学大学

- ・東三河防災カレッジ 地域課題探究ツアー
護 雅史(名古屋大学)

⑤岐阜大学

- ・今年度は特になし

⑥三重大大学

- ・みえ防災塾 防災実践基礎特論 水谷法美(名古屋大学)
- ・みえ防災塾 さきもり特別研究 研究成果報告会
牛山素行(静岡大学) 倉田和己(名古屋大学)
秀島栄三(名古屋工業大学) 松本幸大(豊橋技科大学)



防災フェロー養成講座「都市防災概論」



天狗岳詰 (株) 三河工場と船和電線ケーブルシステム (株) 豊知工場の見学

東三河防災カレッジ 地域課題探究ツアー



さきもり特別研究 研究成果報告会

人材育成・活用専門部会 活動報告

◎防災人材育成・活用に関する取り組み

各大学における防災人材育成・活用に関する取り組みをまとめると下表の通りである

表1 防災人材育成・活用に関する取り組み(静岡大学・名古屋大学・名古屋工業大学)

	静 岡 大 学		名 古 屋 大 学				名 古 屋 工 業 大 学		
	取組名称	静岡大学防災マイスター称号制度	防災アカデミー	げんさいカフェ	高校生防災セミナー	防災・減災カレッジ	耐震リフォーム達人塾	耐震化アドバイザー養成講座(名大・豊橋技科大との連携事業)	木造住宅の安価な耐震改修講習会(名大・豊橋技科大との連携事業)
人材育成の取組状況	実施年度	平成22年度～	平成23年度～	平成16年度より継続	平成24年度より継続	平成24年度より継続	平成24年度より継続	平成26年度より継続	平成18年度より継続
	対象者	防災関係の現役実務者	本学人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部の学部学生	一般および学内	一般及び学内	愛知県下の高校	一般市民	建築士、設計士	建築士など住宅の耐震化に携わる人
	資格名称	ふじのくに防災フェロー	静岡大学防災マイスター	—	—	—	—	耐震化アドバイザーの称号(＋建築CPD単位認定)	建築CPD単位認定
	育成人数	年間10名程度 平成27年度末時点で69名が修了	人数目標は特になし 平成27年度末時点で54人に授与	月一回100名程度	月一回30名程度	年間150名程度	年間300名程度 (H26年度は年間2回実施、合計約600名が受講)	平成26年度(900人程度) ・第1回 6/24 兵庫県(神戸市) ・第2回 9/5 熊本県(熊本市) ・第3回 12/13 宮崎県(宮崎市) ・第4回 12/20 高知県(高崎市) ・第5回 2/24 香川県(高松市) 平成27年度(600人程度) ・第1回 7/10 岡山県(岡山市) ・第2回 9/11 和歌山県(和歌山市) ・第3回 10/7 三重県(津市) ・第4回 12/12 高知県(高崎市) ・第5回 2/3 鳥取県(鳥取市) 平成28年度(1600人程度) ・第1回 6/10 愛媛県(松山市) ・第2回 6/24 和歌山県(紀伊田辺市) ・第3回 6/25 和歌山県(和歌山市) ・第4回 7/8 高知県(高知市) ・第5回 7/28 兵庫県(神戸市) ・第6回 7/29 岡山県(岡山市) ・第7回 9/9 広島県(広島市) ・第8回 9/27 愛媛県(松山市) ・第9回 9/30 鳥取県(鳥取市) ・第10回 11/11 香川県(高松市) ・第11回 12/9 佐賀県(佐賀市) ・第12回 12/15 大阪府(大阪市) ・第13回 3/7 徳島県(徳島市) ・第14回 3/8 徳島県(徳島市)	10年間で500名程度 平成28年度(計260名) Aコース(新規)40名/回、Bコース(スキルアップ)40名/回 ①10月22日(土)AB、②10月29日(土)Aのみ、③11月5日(土)AB、④12月4日(日)AB
	その他	—	—	2014年12月時点で116回を実施。講演のビデオは減災館の2回で自由に閲覧できる。	—	—	修了生は愛知防災リーダーとなり、防災士受験資格を得る(なお、前身の防災カレッジは、平成16年度～18年度で約1300名を育成)	主催:愛知建築地震災害軽減システム研究協議会 (愛知県、名古屋市、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、建築関係団体等で構成)	主催:愛知建築地震災害軽減システム研究協議会 (愛知県、名古屋市、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、建築関係団体等で構成)

人材育成・活用専門部会 活動報告

◎防災人材育成・活用に関する取り組み

各大学における防災人材育成・活用に関する取り組みをまとめると下表の通りである

表1 防災人材育成・活用に関する取り組み(豊橋技術科学大学・岐阜大学・三重大学)

豊橋技術科学大学	岐阜大学				三重大学	
東三河防災カレッジ(メカニズム学習講座、実践力養成講座、地域課題探究ツアー)	げんさい未来塾	地域防災リーダー実践Ⅱ	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座(地域防災リーダー基礎)	社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座(履修証明プログラム)	みえ防災塾(平成25年度までは美し国おこし・三重さきもり塾)	みえ防災コーディネーター育成講座
平成25年度より継続	平成28年度	平成28年度前期(実践Ⅰ) 平成28年度後期(実践Ⅱ)	平成28年度 平日コース(8/10、17、20、27) 同上 日曜コース(11/6、13、20、27)	平成28年度前期(6/6～7/1) 同上 後期(8/29～9/27)	平成21年度～	平成21年度～
企業防災に従事する防災担当者等	地域などで防災活動のリーダーとして活動しており、さらに専門的知識などの取得を希望する者で、選考試験(書類審査ならびに面接試験)で入塾を許可された者	岐阜大学学生およびネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加大学学生	一般、岐阜大学学生およびネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加大学学生	官公庁等土木技術者、建設業界技術者	防災に関わる行政、企業、地域関係者。三重大学大学院生	一般市民
特になし(メカニズム学習講座は全8講座受講で修了証を授与。実践力養成講座・地域課題探究ツアーは4講座以上を受講で修了証を授与)(実践力養成講座の救急救命講座では普通救命講習修了証を授与)	げんさい未来塾一期生	—	清流の国ぎふ防災リーダー	社会基盤メンテナンスエキスパート	三重のさきもり、三重のさきもり補、美し国・三重のさきもり、美し国三重のさきもり補	みえ防災コーディネーター
平成25年度: Basicコース59名 平成26年度: Basicコース51名、Advanceコース36名 平成27年度: Basicコース27名、Advanceコース35名、Excursion17名 平成28年度: メカニズム学習講座: (第0回～7回で、24、25、15、15、19、19、23、23名)修了者9名 実践力養成講座: 第1回～5回で、11、15、14、21、47名 地域課題探究ツアー: 20名	入塾者 9名	実践Ⅰ: 前期5名、後期2名 実践Ⅱ: 後期4名	＜平日＞ 曜> 受講者 : 101 名 4 名 認定者 : 81 名 名	＜平日＞ 期> 受講者 : 32 名 認定者 : 30 名 名 ※認定者数は、前後期ともに過去の受講生を含む 認定者(累計) 356 名	平成22年度: さきもり17名、さきもり補46名 平成23年度: さきもり12名、さきもり補48名 平成24年度: さきもり14名、さきもり補48名 平成25年度: さきもり12名、さきもり補40名 平成26年度: さきもり17名、コーディネーターコース15名、聴講コース17名 平成27年度: さきもり9名、コーディネーターコース16名、聴講コース25名 平成28年度: さきもり応用コース16名、さきもり基礎コース29名 合計: さきもり97名、さきもり補211名	平成21年度: 62名 平成22年度: 67名 平成23年度: 169名 平成24年度: 81名 平成25年度: 53名 平成26年度: 31名 平成27年度: 48名 平成28年度: 55名 合計: 566名
平成25～28年度は、文部科学省の「成長分野等における中核的人材養成等の戦略的推進」事業として実施。	—	全学共通科目として実施。地域防災リーダー実践Ⅱは地域防災リーダー基礎あるいは同等の研修修了者、または防災士を取得していることが受講条件となる。地域防災リーダー実践Ⅰは、地域防災リーダー実践Ⅱの単位認定者が受講条件となる。	地域防災リーダー基礎は、全学共通科目およびネットワーク大学コンソーシアム岐阜における提供科目の名称。認定者は防災士受講資格を得る。認定者はげんさい未来塾(一般)あるいは地域防災リーダー実践Ⅰ(学生)の受講資格を得る	・資格認定機関: 社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット運営協議会(産官学連携組織、岐阜大学、岐阜県、国土交通省、岐阜県建設関連団体) ※平成27年度より、国土交通省の民間資格への申請に伴い、ME資格を岐阜大学が認定。既MEは再試験にて資格を更新している。	美し国おこし・三重さきもり塾・平成21年度は準備期間。平成22年度からの人材育成の実施 みえ防災塾 ・美し国おこし・三重さきもり塾の後継事業	平成16年度～平成18年度は、三重県単独実施で223名養成

◎各大学の主な取り組み状況

①静岡大学

・「ふじのくに防災フェロー養成講座」の修了生の一部を「静岡大学教育研究支援員」に任命して、同講座受講生の指導、各種調査研究、地域連携活動に参画してもらっている。

②名古屋大学

・「減災館」という拠点を活かして、「げんさいカフェ」、「防災・減災カレッジ」等の複数の人材育成講座を開講している。

③名古屋工業大学

・「耐震リフォーム達人塾」、「耐震化アドバイザー養成講座」等を開講し、建築士等を対象に住宅の耐震化を中心に実施している。

④豊橋科学技術大学

・「東三河防災カレッジ」を開講し、企業の防災担当者を対象に実施している。

⑤岐阜大学

・岐阜県と岐阜大学による「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を設置するとともに、「げんさい未来塾」、「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座」、「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座」を開講し、地域の防災リーダーや技術者を対象に実施している。

⑥三重大学

・三重県と三重大学による「みえ防災・減災センター」を設立し、この中に「みえ防災塾」を設けて人材育成・活用事業を実施している。